

授業科目	*キリスト教保育				単位	2		
履修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11322J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-2			
担当教員	東 彩子							
授業概要	キリスト教に基づく保育とは、「子ども」を神の国の中心ととらえるイエスの視点により施されるものである。本講義では、聖書の視点に立ち、子どもは大人の所有物ではなく、神から授かった命そのものであることの確認と、子どもの命に寄り添う生き方を学生自らが問い問われる体験的な演習を行う。また、聖書の視点を基に、世界の子どもたちが置かれている現状の理解を深めるためグループワーク&プレゼンテーションを行い、さらに、キリスト教保育の本質と目的の理解を深めるため、「子どものための聖書劇」を製作・演出し、キリスト教保育の源泉に触れる。							
学生が達成すべき行動目標	1. イエス・キリストの「子ども」理解を基に、世界や日本の「子ども」を取り巻く諸問題について考察できる。 2. キリスト教保育の思想と歴史を知り、キリスト教保育の諸行事について説明できる。 3. キリスト教保育における礼拝・祈り・聖話・賛美・聖書の劇の理解を深め、実践できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	10	30	60	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			10		60		70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				30			30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
イエス・キリストの「子ども」理解を基に、現代の「子ども」を取り巻く諸問題について考察し、キリスト教保育における礼拝・祈り・聖話・賛美・聖書の劇の理解を深め、実践できる。				イエス・キリストが「子ども」をどう捉えているのかを理解し、子どもの視点にたっで行われる礼拝について、具体的に知ることができる。また、聖話を土台とした劇を作りあげの中で、聖書理解を深めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:「キリスト教保育」の役割			講義/GW		講義の内容を復習する		30

	キリスト教保育の歴史と思想を探求し、キリスト教保育が現代の日本社会において担う役割について理解を深める。			
2	テーマ:「キリスト教保育」と行事 キリスト教保育における主要な行事の概要を知り、それぞれの行事の意義について理解を深める。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
3	テーマ:「キリスト教保育」と礼拝①祈り 子どもの礼拝の意味と内容を知り、祈りについて理解を深める。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
4	テーマ:「キリスト教保育」と礼拝②聖話と賛美 子どもの礼拝における聖話と賛美の役割について理解を深め、様々な聖話や賛美の実践に触れる。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
5	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」① イエス・キリストに仕えたマザー・テレサの生き様を学び、子どもの権利条約の内容について理解を深める。	講義/映像鑑賞	講義の内容を復習する	30
6	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」② 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べる。(貧困、戦争、独裁政権下、難民のこどもたち)	講義/GW	グループごとに調べを進める。	30
7	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」③ 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べ、発表の準備を行う。	GW	グループごとに発表の準備を行う。	30
8	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」④ 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べ、発表の準備を行う。	GW	グループごとに発表の準備を行う。	30
9	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」⑤ 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べたこと、考えたことを発表する。	GW	他グループの発表の内容をまとめる。	30
10	テーマ:聖書の劇① キリスト教園における子ども劇の目的と使命、また、シナリオ作成と演出について考察する。	講義/GW	復習:グループごとにシナリオ作成を進める。	30
11	テーマ:聖書の劇② グループごとに、配役・演出・効果を検証しつつ、聖書の物語を土台としたシナリオを作成する。	GW	復習:グループごとにシナリオを完成させる。	60
12	テーマ:聖書の劇③ 聖書理解、時代背景、役柄を研究し、子どもにわかりやすい演技や効果を検討、実践する。	GW	復習:劇の練習・製作を行う。	60
13	テーマ:聖書の劇④ 聖書理解、時代背景、役柄を研究し、子どもにわかりやすい演技や効果を検討、リハーサルを行う。	GW	復習:劇の練習・製作を行う。	60
14	テーマ:聖書の劇⑤発表 聖書の劇の発表を通して、キリスト教保育の本質と目的について理解を深める。	講義/GW	復習:発表の振り返りを書き留める。	30
15	テーマ:全体のまとめ 「キリスト教保育」の学びの総括と、クラス内レポート記述を行う。	講義/レポート	復習:全体の復習をノートにまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	キリスト教学 I で学んだ内容を基に発展的な学びを行うため、復習しておくこと。			
テキスト	『聖書』(新共同訳)日本聖書協会 『新 子どもと行事』キリスト教保育連盟			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『新 キリスト教保育指針』キリスト教保育連盟 『神さまのおはなしきかせて』日本キリスト教団出版局 その他、紙芝居や絵本を授業中に紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習で学んだことと照らし合わせながら、聖書の視点で子どもや保護者、職場の人々と接する意義を共に考えていきましょう。さらに、世界に目をむけ、世界の子どもたちが置かれている状況を知り、何ができるかを共に考えていくため、日頃から世界のニュースや SDGs の取り組みに触れるなど、視野を広げておきましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	クラスポートフォリオ 30%、チャペルアワー感想 30%、プレゼンテーション 30%、まとめのレポート 10%			

